

授業の背景

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさん。マータイさんが、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。「環境 3R + Respect = もったいない」Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）という環境活動の 3R をたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対する Respect（尊敬の念）が込められている言葉、「もったいない」。マータイさんはこの美しい日本語を環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱しました。MOTTAINAI キャンペーン <http://mottainai.info/>より。残った食材を活用する視点から、「もったいない」について考える授業です。

ちょっと教材研究

「ろすのん」について

6府省庁（内閣府、消費者庁、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省）が連携してプロジェクトを進めるに当たり、ロゴマークを作成しました。



○名前：ろすのん（男の子）

・食品ロスをなくす（non）という意味から命名 ・280件の応募の中から決定（平成25年12月）

○ろすのんに込めたメッセージ：・真ん中の赤丸「●」は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）・下の二本線「=」は、お箸をイメージ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

○ろすのんのログセ：・語尾に「のん」が付く

日本人は毎日、おにぎり 1~2 個を捨てていると言われます。この数字は、食べられるのに廃棄されている食品、いわゆる「食品ロス」から試算したもので、日本国内で年間約 500 万~800 万トン（平成 22 年度推計／農林水産省）にも上ります。これは、世界全体の食料援助量の 2 倍にあたり、日本の米収穫量に匹敵すると言います。

伊藤園の「茶殻リサイクルシステム」：<https://www.itoen.co.jp/csr/recycle/>

緑茶飲料「お〜いお茶」の製造工程で発生する茶殻を有効活用する取組。茶殻を乾燥させることなく輸送・保存して工業製品に配合する技術確立しました。現在は異業種と組んで、抗菌性、消臭生、香りといったカテキン機能を生かした製品開発をさまざまな分野で展開しています。

ちょこっと食育

みなさん、「ろすのん」が泣いています。なぜ泣いているかという、私たち日本人は毎日、おにぎり 1~2 個を捨てていると言われていて、日本国内で年間約 500 万~800 万トンにも上ります。これは、世界全体の食料援助量の 2 倍にあたり、日本の米収穫量に匹敵する量です。こうした食品ロスをなくすために、買い過ぎないこと、食材を使い切ること、残さないで食べ切ること、上手に保存することを心がけて「もったいない」の気持ちを上げていきましょう。

(3) 健康的な食生活を支える栄養バランス

～ 学校編 6 ～

テーマ 地域との連携を生かした食育

大分県 竹田市立直入小学校

報告者 栄養教諭 足立英子

直入小学校では「進んで健康づくりに取り組む子どもの育成」について地域の力をいかすことでより実践的な態度が児童に身につくであろうという仮説から「地域とつながる食育を通して」ということで食育に取り組んでいる。栄養教諭の立場から小学校での実践を報告する。

① 教育課程・教職員との連携

連携

- ・年度初めに「食に関する指導の人材リスト」、「食に関する指導（写真版）」を作成した。地域で食育に協力して下さる方をリストアップして一覧にし、生活科や総合的な学習と連携させるため、連絡・調整等をおこなった。
- ・マナーチェックや、生活習慣チェックにおいて気になる児童について担任に知らせながら状況などを確認していった。

リストは31人も！直入、竹田は地域の力がいっぱいです。

食に関する指導における人材リスト					2017.4現在 直入小学校	
氏名（敬称略）	職種等	連絡先	直入地域	昨年度までの関わり	関われそうな学年	
〇〇	栃原野菜出荷組合	電話番号	〇	給食へ野菜出荷 ・1.2年生畑の先生 ・1.2年生みそ汁作り ・ふれあいバイキング給食への参加	1.2.3.4	
〇〇	栃原野菜出荷組合	電話番号	〇		1.2.3.4	
〇〇	栃原野菜出荷組合	電話番号	〇		1.2.3.4	
〇〇	栃原野菜出荷組合	電話番号	〇		1.2.3.4	
5 〇〇	〇〇農産加工所	電話番号	〇	給食へみその出荷 ・2年生みそ作り見学(2015) ・4年生みそ作り見学及び仕込み(2016) ・ふれあいバイキング給食への参加 ・以前2年生の畑の先生 ・中学校でのむかしのおやつ（おはぎ）	1.2.4.5.6	
6 〇〇	食生活改善推進協議会	電話番号	〇	・5年生のおにぎり・だんご汁作り	5	
7 〇〇	竹田市役所	電話番号		・連絡調整他	1.2.3.4.5.6	
		電話番号				
12 〇〇	豆腐店・豆腐					
13 〇〇	精肉					
14 〇〇	豆腐				3.4	
15 〇〇	食肉卸			ふれあいバイキング給食への参加	3.4	
16 〇〇	牧場	電話番号		・取材協力	3.4	
17 〇〇	農業	電話番号		・取材協力		



人材リストを作成したり、「この時にはこんなゲストティーチャーがいますよ」と声かけをしたりしたことで、フランス料理のプロから大豆のおいしい調理法を学んだり、和食料理人の方から「本物のだしの味」に児童が出会えたりした。また、地域の郷土料理名人から教えていただくことで地域の方に見守られていることも児童は実感できたのではと感じる。また、マナーや生活習慣において気になる児童を担当に知らせると、担任も声かけしたり、その子の生活改善のために学級活動や授業の中などで取り組んでくれた。児童・保護者と直接つながっている担任等との連携の大切さを強く感じた。

発信

② ぱくぱくだより (児童へ)

その日のこんだて内容についてのおたよりを用意し、給食栽培委員に読んでもらっている。献立のこと、栄養のこと、生産者、調理員さんのことなど児童が給食に関心をもち、感謝の気持ちを持てるように時々クイズを取り入れながら作成している。


2017年度

ぱくぱくだより

鳥入学校給食科副調理員

7月12日(水)

- ・ 雑ごはん
- ・ ひやがいのおそば
- ・ いわしの焼き
- ・ ビーヤチャンフルー
- ・ 牛乳



ビーヤは、竹田町会長の吉岡さんが贈ってくれました。にがいけれど、ビタミンCがとれておなか、胃の働きをよくしてくれます。ビーヤは、腐るとおどろきになり、あまくなります。新そばで、いろいろな動物にも食べられないようにするために、にがいのです。〇〇は…


2017年度

ぱくぱくだより

鳥入学校給食科副調理員

11月17日(金)

- ・ くろあじはん
- ・ ご汁
- ・ とじょうの甘辛揚げ
- ・ 手作りだしじんのサラダ
- ・ 牛乳



きょうは、「竹田町ふるさとこども会」の日です。にんじん・だいこんは、新築の天宮産直代さん、しいたけは、吉笠農産さんが贈ってくれました。とじょうは、おならが詰る、竹田町学校の児童ラールで育った鳥入町産のどじょうです。カルシウム・鉄分などが多いので、しょうゆなまを付けてくれます。天宮の漬物屋にたくさん買って元気なぼくを作ってくださいね。


2017年度

ぱくぱくだより

鳥入学校給食科副調理員

10月11日(水)

- ・ 黒神麹パン
- ・ ぱくさいスープ
- ・ なすのミートグラタン
- ・ しょうが芋め
- ・ 牛乳



なすは、おいしい野菜です。「なすは、よめにくわすな」といふことわざが、あります。おしゅうとのさんのいじわる？それともやさしいお湯い？なすは、からだを冷やすからおいしいからといって、食べ過ぎでいいけないよという、やさしさからでたことわざだそうです。しょうが芋のしょうがは、舌くちをあたためてくれますよ。


2017年度

ぱくぱくだより

鳥入学校給食科副調理員

11月14日(火)

- ・ ごはん
- ・ マーボー豆腐
- ・ 漬きししゃも
- ・ ハハハ揚げ
- ・ 牛乳



暑くなりましたね。そんな時でもかならず、暑くるところから、お豆腐屋さんはお豆腐を作り出します。新鮮、できたてお豆腐をみんなに届けるために…きょうは、天宮前産直さんとどけてくれました。福栄さんは、小まな産直家というところのおいしいお茶とお花の天日干しを届けてくれます。ありがとうの気持ちでいただきますね。

食のおたより（家庭へ）

毎月、親子で読んでもらえたらと作成している。食・体に関すること、児童の様子、生産者のこと、おすすめレシピ等を掲載している。

(おもて)

(うら)

③ 親子ふれあい給食

連携

11月に全校児童の保護者対象に試食会を実施。ふだんは、ランチルームでの縦割り班で食べているが、教室等で学年に別れ、親子でのふれあいをもちながら学校給食に関心・理解を深めてもらう場となるように企画している。

- ・ 当日のメニュー
麦ご飯、牛乳、ほうれん草スープ
豆腐の千草焼き、手作りふりかけ



好評でした

④ 直入小 うちカフェ

連携

栄養教諭・養護教諭が保護者と直接、気軽に交流できる場として、保体部で「直入小うちカフェ」を企画した。台風などの影響で日程変更等あったが、参加者に好評で、食事や子育てのことなど、楽しくいろいろな話ができ、貴重な時間を持てた。今後も機会をとらえ、計画的に取り組んで保護者との交流を深めていけたらと思う

- 〈メニュー〉 かぼすそうめん
豆腐白玉だんごのみたらしあん
水出しサフラン紅茶

〈参加者〉 6家庭 20名程、教職員 4名（幼児、祖母なども参加）



家でもしてみたいな。
参考になったよ。



おいしかった～



デモンストレーション



試食&懇談

楽しかった～。こん
ど、宣伝するよ

⑤ ふれあいバイキング給食

連携

1年生が食べ物の働きについて学習したあと、毎年12月に生産者を招いてふれあいバイキング給食を行っている。児童が育て、収穫したさつまいもをメニューに取り入れ、ふだんお世話になっている地域の生産者に感謝の気持ちもこめて行っている。

事前に1年生が食べ物の働きについて発表してくれました。



給食栽培委員会から生産者へお礼のあいさつ



ほとんど、手作りのメニュー。調理員さんが朝早くから作ってくれました。

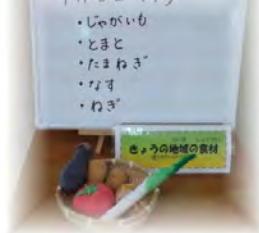
vii) 環境づくり

楽しく、そして感謝の気持ちを持ちながら食べられるように環境づくりを行っている。栄養教諭だけでなく、学校司書・学校主事等、校内の様々な職員が関わりながら、環境作りに取り組むことで、学校全体として食に対する意識が高まっている。



竹田市おいしいものマップ

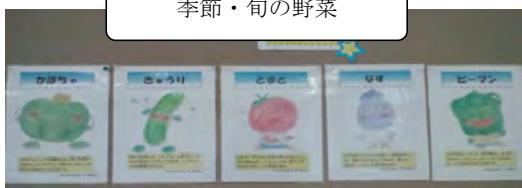
きょうの地域の食材



食器の置き方模型



季節・旬の野菜



地域の生産者



栄養教諭として、環境整備、児童・保護者への発信も大切だが、自分自身が保護者や地域の方とつながっていく方法を考えながら取り組みを行ってきた。うちカフェ後は、「今度は、知り合いに、いっぱい宣伝するよ」「行けなかったからまたしてくださいね」という声も聞かれ、保護者と出会った時など気軽に会話ができるようになった。地域の生産者の方とも視察を機に「今度、調理実習用に野菜を持ってきてあげようね」「子どもたちも畑の見学おいで・・・」と積極的に関わってくださり、地域で子どもたちを育てようという気持ちを感じる。今後も様々な取り組みを通して、子ども・家庭・地域とつながっていきたい。

